

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)①

嬉野市議会議員 山口 忠孝

開催月日	令和元年11月18日		
開催時間	13:15~14:45		
開催場所	大津市唐崎2丁目13番1号		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和元年度第2回市町村議会議員特別セミナー		
講師等の氏名等	地方行財政の現状と課題 総務省地方財政審議会委員 星野 菜穂子 氏		
内容・結果等	1 地方財政の特徴…租税収入と最終支出で国と地方が逆転。財政移転(国庫支出金・地方交付税)が大きな役割		
	地方財政計画の役割…地方公共団体が標準的な行政水準を確保できるよう地方財源を確保・地方財政の健全化・一般財源総額の確保と質の改善		
内容・結果等	3 近年の地方行財政の課題; 地方単独事業…国から補助等を受けずに独自の経費で任意に実施する事業		
	4 地方財政審議会の意見…各地方自治体の事業については、法令によって義務付けられているものも含め、住民にしっかりと説明責任を果たすとともに、その実績や効果について、議会等において十分な検証が行われることが望ましい		
内容・結果等	5 市町村と対人サービスの観点から…市町村の役割は増大・複雑化。単独事業の役割の検討が必要		
	感想 地方行財政の役割は、地方自治体が住民サービスを行っていく上で大きな根幹であり、その運営には十分な監視と検証が大切だと感じた。地方行財政が厳しさを増して行く中で、いかに効果的かつ効率的な行政サービスを行っていくことがこれからの課題であると考えさせられた。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		29,980
	宿泊費		6,650
	振込手数料		550
	合計		37,180

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)②

嬉野市議会議員 山口 忠孝

開催月日	令和元年11月18日		
開催時間	15:05~16:35		
開催場所	大津市唐崎2丁目13番1号		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和元年度第2回市町村議会議員特別セミナー		
講師等の氏名等	自治・分権の志はどこへ行ったのかー基礎自治体の行方を考えながら 元読売新聞東京本社編集委員 青山 彰久 氏		
内容・結果等	1漂流する議論ー2000年分権改革から20年…国家行政の末端としての「地方」ではなく、人々が暮らす場としての「地域」の視点をとりもどす必要。地方創生の手法はこれでいいのか。半世紀続いてきた過疎対策法をどう捉え直すか。		
	2生活・文化・自然・歴史ー地域と自治を考える手がかり		
	3地方議会と地方議員の役割は一住民の広場…生活感覚、地域づくりの専門家		
	42000年分権改革の反動…人口が先勝しても多様な地域と自治を保障する国。国からと地方は上下・主従から対等・平等関係へ		
	5住み心地よき地域を求めてー歴史の峠を越えた…「工業化・都市化・人口増」から「脱工業化・逆都市化・人口定常化」		
	感想 2000年分権改革は、明治維新以来の中央集権構造からの社会変革をめざしたものだだったが、人口減少と地方消滅で地方自治体は厳しい状況である。講師の青山氏はジャーナリストとしての知見から経済合理性だけでは語れない地域の魅力を紹介しながら、熱く持論を語られた。今一度、地方に住む私たちも地域の良さを再認識して、住み心地のいいまちづくりを目指さなければならないと強く感じた。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合計		0

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)③

嬉野市議会議員 山口 忠孝

開催月日	令和元年11月19日		
開催時間	9:00~10:30		
開催場所	大津市唐崎2丁目13番1号		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和元年度第2回市町村議会議員特別セミナー		
講師等の氏名等	最先端技術で変わる地域と自治体の未来 株式会社日本総合研究所専務執行役員 創生戦略センター所長 井熊 仁 氏		
内容・結果等	1電子自治体自治体との違い…情報ネットワークがモノやサービスを含めた統合ネットワークへ、人間だけの判断からAIと協働。通信、データ処理、AI、モノの制御等が桁違いに進化。		
	2IoTとITの違い…モノがあたかも知性を持ったように振る舞う。感知、効率性ネットワーク化、特殊化、場所の汎用性		
	3公共サービスはこう変わる…上下水道IoTでは個別施設の無人化と集中管理。施設運営IoTでは施設の群管理と人的管理の低減、ライフサイクル管理。インフラIoTでは高度センサーにより維持管理コストの低減と長寿命化。防災IoTではリアルタイムの情報収集や災害時対応の最適化。教育IoTでは教育現場の負担軽減と質の向上。介護IoTでは情報共有と関係機関との連携促進、現場の負担軽減、サービスの質の向上		
	4自治体も変わる…RPA(ソフトウェア上のロボットによる業務工程の自動化)導入補助事業。登録、入力、集計が多い税務、検診、給与分野で活用。税務や財務、法務等の専門分野でも活用される。		
	5AI・ロボティクスに代替されない自治体業務…セラピスト、第一線の専門家、ソーシャルワーカー、マネージャー、コーディネーター等。コンピュータは敵ではない。無駄な仕事を減らし、地域の維持や住民福祉に寄与できる。		
	感想 AIの時代の話をも身近に聞くことができた。我々議員よりも自治体職員に聞いてもらう話だと感じた。早く取り入れていくよりもある程度周りの状況を見ながら導入していったほうが得策ではないかと感じた。というのも、システムは日進月歩で変わっていくので慌てることはないと思った。ただ、仕事量が減るのか、別に新たな仕事が増えてくるのではと危惧もある。いづれにしても自分についてはついていけない違う世界の話のようにも思えた。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合計		

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)④

嬉野市議会議員 山口 忠孝

開催月日	令和元年11月19日		
開催時間	10:50 ~12:20		
開催場所	大津市唐崎2丁目13番1号		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和元年度第2回市町村議会議員特別セミナー		
講師等の氏名等	2040年に向けた自治体の課題と展望 東京大学公共政策大学院客員教授 株式会社野村総合研究所顧問 増田 寛也 氏		
内容・結果等	1まち・ひと・しごと創生法(2014. 11. 28)・・・人口減少に歯止め→希望出生率1.8、東京圏への過度の人口集中是正、地方での仕事づくり・コンパクトな街づくり		
	2地方創生 5年経過して・・・短絡的な社会増(人口の奪い合い)。地方の中核都市(政令都市等)→危機意識が低い。地方の中・小都市→人材不足・首長で色々。地方創生交付金目当て→本来「呼び水」的なものだが行政の色が濃ゆくなり過ぎ		
内容・結果等	3第2期地方創生・・・関係人口の創出、新しい時代の流れを力に、人材を育て活かせ、民間と協働、誰もが活躍できる地域、地域経営の視点。		
	4解決のカギ・・・「しがらみ」と「横並び」を壊す、地方創生の「作り手」を育てる、人材や資金が自由に入出入りする開放的な地域経済、「作る」より「伝える」を軸足に		
内容・結果等	5今やるべきこと・・・人口減少→地方消滅の阻止、危機感を行動に、微修正ではなく本質的かつ大胆な改革(常識にとられない)		
	感想 本市を消滅都市に挙げた増田氏から直截話を聴くことが出来て良かった。今回(地方創生第2期)の一番の目標は東京圏一極集中の阻止で、そうしないと地方が消滅するからである。演題の2040年に向けたと・・・あるように常に10年後・20年後を考えて今現在を語っておられ、何とか結果・成果を出したいという思いを世阿弥の言葉「初心」に込められて次のように述べられた。「初心とは、折りあるごとに古い自己を断ち切り、新たな自己として生まれ変わらなければならない」。「初心忘れるべからず」とは、「恐れずに、変化し続けなさい」という意味で、「地域が変わることは難しいが、変わらなければならない」・・・と。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合計		0

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。